平成26年１月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年６月13日

上 場 会 社 名	オーエス株式会社	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	9637	URL	http://www.osgroup.co.jp
代　　表　　者	(役職名)　取締役社長	(氏名)　山内芳樹	
問合せ先責任者	(役職名)　経理部長	(氏名)　矢崎秀成	(TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日	平成25年６月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年１月期第１四半期の連結業績（平成25年２月１日～平成25年４月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年１月期第１四半期	1,727	4.0	150	38.7	107	72.7	52	128.0
25年１月期第１四半期	1,660	△1.6	108	△10.6	61	△12.5	23	△46.3

(注) 包括利益　26年１月期第１四半期　　97百万円(193.6%)　25年１月期第１四半期　　33百万円(　0.2%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年１月期第１四半期	3.34	―
25年１月期第１四半期	1.46	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年１月期第１四半期	31,029	8,618	27.8
25年１月期	30,622	8,560	28.0

(参考) 自己資本　26年１月期第１四半期　8,618百万円　　25年１月期　8,560百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年１月期	―	2.50	―	2.50	5.00
26年１月期	―				
26年１月期(予想)		2.50	―	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年１月期の連結業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	3,480	3.9	215	△18.9	130	△26.7	65	△19.9	4.10
通期	8,920	3.9	715	△15.3	530	△20.1	315	△10.7	19.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は、添付資料３ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年１月期１Ｑ	16,000,000株	25年１月期	16,000,000株
②　期末自己株式数	26年１月期１Ｑ	147,373株	25年１月期	147,046株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年１月期１Ｑ	15,852,872株	25年１月期１Ｑ	15,854,229株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
（５）セグメント情報等 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成25年２月1日～平成25年４月30日）におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策効果などを背景に、企業収益が改善されるなど一部に景気回復に向けた明るい兆しが見え始めております。

このような経済環境のなかで、当社グループは、経営環境の変化に左右されない安定した経営・財務基盤を実現するべく、各事業の競争力の強化と利益水準の向上に努めてまいりました。

当第１四半期連結累計期間の成績は、売上高1,727,166千円と前年同期に比べ66,655千円（4.0％）の増収となり、営業利益は150,853千円と前年同期に比べ42,093千円の増益、経常利益は107,076千円と前年同期に比べ45,092千円の増益、四半期純利益は52,918千円と前年同期に比べ29,706千円の増益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画事業におきましては、邦画作品では「プラチナデータ」「ドラゴンボールＺ 神と神」「名探偵コナン 絶海の探偵（プライベート・アイ）」、洋画作品では「テッド」「ダイ・ハード／ラスト・デイ」「シュガー・ラッシュ」などの話題作品を上映いたしました。

本年４月には、商業施設「神戸ハーバーランドｕｍｉｅサウスモール」内にシネマコンプレックス「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」（９スクリーン）を開業いたしました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

売上高は627,159千円と前年同期に比べ75,470千円（13.7％）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は56,120千円と前年同期に比べ35,134千円の増益となりました。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産賃貸におけるオフィスビル市況は、大阪ビジネス地区では大規模開発ビルの竣工の影響により、本年４月末の同地区の空室率は11.2％と悪化しております。また、東京都心５区の空室率も8.5％と依然高止まりの状態にあります。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、空調更新工事を実施するなど、ビルの機能強化に努めてまいりました。当第１四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は97.7％と高稼働を維持しております。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております来年１月竣工予定の分譲マンション「プレージアブラン東園田」の販売を、本年２月より開始しております。

また、本年１月に大阪府守口市にて新たな分譲マンション用地を取得し、事業化に向けて鋭意準備を進めております。

売上高は716,495千円と前年同期に比べ37,566千円（5.0％）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は228,848千円と前年同期に比べ8,783千円の減益となりました。

（ホテル事業）

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を下支えに、訪日旅行者も回復傾向にあり、堅調に推移しております。

このような状況のなか、「梅田ＯＳホテル」におきましては、一部客室の改装を行い、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、お客様のニーズに合わせたプランの提供を行うとともに残室管理を徹底し、稼働率の向上に努めてまいりました。

売上高は166,550千円と前年同期に比べ9,541千円（6.1％）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は25,011千円と前年同期に比べ8,940千円の増益となりました。

（飲食事業）

飲食業界は、景気回復の兆しから消費マインドの持ち直しが期待されるものの、雇用や所得環境の先行きの不透明さから消費者の節約志向は依然根強く、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、新メニューの提供や販売促進活動の実施により顧客満足度の向上に努めてまいりました。

売上高は85,981千円と前年同期に比べ8,123千円（10.4%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は4,929千円と前年同期に比べ2,652千円の増益となりました。

（その他事業）

アミューズメント業界は、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化が進んだことにより、厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、「ｎａｍｃｏ三宮店」は昨年に実施したリニューアルの効果により、堅調に推移いたしました。

売上高は130,980千円と前年同期に比べ11,084千円（9.2%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は21,453千円と前年同期に比べ3,621千円の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は406,425千円の増加となりました。これは主に現金及び預金487,810千円の減少がありましたが、有形固定資産441,445千円、販売用不動産154,926千円、投資有価証券145,874千円及び差入保証金100,269千円の増加によるものであります。

負債につきましては348,849千円の増加となりました。これは主に長期借入金2,072,384千円及び未払法人税等242,340千円の減少がありましたが、短期借入金2,176,286千円及び未払金464,881千円の増加によるものであります。

純資産につきましては57,575千円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金44,432千円の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年1月期の連結業績予想につきましては、平成25年３月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,259	713,449
売掛金	255,535	256,324
販売用不動産	1,618,289	1,773,215
商品	8,484	10,513
貯蔵品	1,619	2,570
前払費用	84,310	117,434
繰延税金資産	67,362	51,224
その他	12,927	20,999
貸倒引当金	△7,729	△7,792
流動資産合計	3,242,060	2,937,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,781,200	23,286,432
減価償却累計額	△12,523,080	△12,599,206
建物及び構築物（純額）	10,258,120	10,687,226
機械装置及び運搬具	245,809	313,701
減価償却累計額	△111,309	△116,938
機械装置及び運搬具（純額）	134,499	196,763
工具、器具及び備品	740,433	886,989
減価償却累計額	△638,033	△645,209
工具、器具及び備品（純額）	102,399	241,779
土地	15,073,710	15,073,710
建設仮勘定	189,303	－
有形固定資産合計	25,758,033	26,199,479
無形固定資産		
ソフトウエア	27,575	101,829
その他	10,849	10,708
無形固定資産合計	38,424	112,537
投資その他の資産		
投資有価証券	397,137	543,011
長期前払費用	204,758	193,063
差入保証金	511,542	611,812
建設協力金	415,136	417,169
繰延税金資産	8,694	9,068
その他	65,424	25,306
投資損失引当金	△38,000	△38,000
投資その他の資産合計	1,564,693	1,761,431
固定資産合計	27,361,152	28,073,448
繰延資産		
社債発行費	19,424	17,674
繰延資産合計	19,424	17,674
資産合計	30,622,636	31,029,061

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,792	163,515
短期借入金	3,422,674	5,598,960
未払金	110,846	575,727
未払費用	328,574	259,782
未払法人税等	272,583	30,243
未払消費税等	36,916	8,234
賞与引当金	43,660	96,993
その他	230,387	263,038
流動負債合計	4,624,435	6,996,496
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	9,481,914	7,409,530
長期預り保証金	2,293,466	2,312,846
繰延税金負債	1,358,451	1,376,121
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	182,994	195,118
固定負債合計	17,437,748	15,414,536
負債合計	22,062,183	22,411,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,340,865	4,354,151
自己株式	△91,857	△92,000
株主資本合計	5,115,514	5,128,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,453	114,886
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,444,938	3,489,370
純資産合計	8,560,453	8,618,028
負債純資産合計	30,622,636	31,029,061

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日）
売上高	1,660,511	1,727,166
売上原価	1,332,593	1,361,737
売上総利益	327,917	365,429
一般管理費	219,158	214,576
営業利益	108,759	150,853
営業外収益		
受取利息	2,109	2,225
その他	592	426
営業外収益合計	2,701	2,651
営業外費用		
支払利息	44,653	42,087
その他	4,823	4,340
営業外費用合計	49,476	46,428
経常利益	61,984	107,076
特別損失		
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	－	17,586
固定資産除却損	21,767	148
特別損失合計	21,767	17,734
税金等調整前四半期純利益	40,216	89,342
法人税、住民税及び事業税	24,284	27,552
法人税等調整額	△7,278	8,871
法人税等合計	17,005	36,424
少数株主損益調整前四半期純利益	23,211	52,918
四半期純利益	23,211	52,918

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,211	52,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,951	44,432
その他の包括利益合計	9,951	44,432
四半期包括利益	33,162	97,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,162	97,350
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	551,688	754,061	157,008	77,857	119,895	1,660,511	―	1,660,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	52,629	―	―	―	52,629	△52,629	―
計	551,688	806,690	157,008	77,857	119,895	1,713,140	△52,629	1,660,511
セグメント利益	20,986	237,631	16,070	2,277	17,832	294,798	△186,039	108,759

（注）１．セグメント利益の調整額△186,039千円には、セグメント間取引消去△636千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,402千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	627,159	716,495	166,550	85,981	130,980	1,727,166	―	1,727,166
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	36,096	―	―	―	36,096	△36,096	―
計	627,159	752,591	166,550	85,981	130,980	1,763,262	△36,096	1,727,166
セグメント利益	56,120	228,848	25,011	4,929	21,453	336,363	△185,510	150,853

（注）１．セグメント利益の調整額△185,510千円には、セグメント間取引消去△1,612千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△183,898千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。